

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		自然保護事業		担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3902	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり		根拠法令 個別計画等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、埼玉県アライグマ防除実施計画、深谷市河川浄化美化活動推進奨励金交付要綱				
	小項目	1	自然・生活環境の保全							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣の捕獲許可事務、特定外来生物法により埼玉県が環境省から確認を受けた埼玉県アライグマ防除実施計画に基づくアライグマの防除及び河川浄化美化活動の支援を行う事業である。								
目的 ※何のために		生態系の保護及び自然環境の保全を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		アライグマ等により被害を受けている市民、河川浄化美化活動を行う団体								
手段 ※どのように		法令に基づく許可（有害鳥獣捕獲許可）、箱わな設置によるアライグマ捕獲及び河川浄化美化活動への奨励金の交付を行う。								
成果 ※何を求めるか		野生鳥獣の適正管理、アライグマの防除及び河川の浄化と美化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	7	公害対策費	自然保護事業	1,345,300
本事業の 主な業務		・ 有害鳥獣の捕獲等許可事務							・	
		・ 鳥獣の飼養登録等の事務							・	
		・ アライグマの防除							・	
		・ 河川浄化美化活動の支援							・	
		・ クビアカツヤカミキリの防除							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	942,000	945,000	1,096,000	1,673,000	1,673,000	1,673,000
	決算額	757,766	728,398	899,070	1,279,025	1,345,300	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	130,766	113,398	1,082,620	1,134,000	1,000,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	627,000	615,000	617,000	196,405	211,300
人件費	従事職員数（人）	2.74	2.72	2.28	2.72	2.72	2.72
	人件費相当試算※	21,314,460	21,167,040	18,479,400	22,129,920	21,112,409	22,117,267
総事業費試算		22,072,226	21,895,438	19,378,470	23,408,945	22,457,709	23,790,267

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	アライグマ被害相談件数	目標値	件							
		実績値		638	589	674	787	805	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		被害の発生件数は予測できないため、目標値設定はできない。/アライグマ台帳の相談件数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	河川浄化活動年間回数（申請した団体の合計活動回数）	目標値	回							
		実績値		23	24	25	18	21	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各団体が自主的に実施するため、市で目標設定できない。 / 実績報告書の活動回数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	河川浄化活動参加者数	目標値	人							
		実績値		837	999	1022	662	763	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各団体が自主的に実施するため、市で目標設定できない。 / 実績報告書の参加者数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	アライグマ捕獲頭数	目標値	頭							
		実績値		360	319	410	487	529	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		アライグマの頭数は予測できないため、目標値設定はできない。 / アライグマ台帳の捕獲数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	河川の平均BOD値	目標値		3	3	3	3	3	3	
		実績値		2.3	3.9	3.1	2.6	3.7	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		環境基準の3未満を維持する。単位：mg／L / 環境基準適用河川での平均値							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	河川浄化美化団体が、年間を通じて清掃、美化、啓発等を実施しており、多くの市民が参加している。 アライグマは相談に応じて箱罠の設置を行い、適切な防除を行っている。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	アライグマの捕獲頭数は生息頭数の増加に伴って増加している。 環境基準適用河川でのBODの平均値は、環境基準を上回った。	
			評価者	環境保全係長 佐藤 秀和

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ICTの活用として、アライグマの箱わなの貸し出し、回収申し込みをインターネットから行えるようにし、事務効率が上がった。	
			評価者	環境保全係長 佐藤 秀和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	自然保護事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3902
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 環境水道部次長兼環境課長 野中 護					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	特定外来生物駆除のための効果的な対策の検討、情報収集が必要。

8. 評価指標グラフ

